

Japanese Society for Day Care Treatment  
**日本デイケア学会**

**NEWS No.30**

日本デイケア学会広報委員会  
2015年1月20日 発行  
日本デイケア学会事務局  
東京都文京区本郷2-17-13  
(有) エム・シー・ミュージズ内  
TEL: 03 - 3813 - 6368  
FAX: 03 - 3813 - 6368  
E-mail: info@daycare.gr.jp  
http://www.daycare.gr.jp

**つなごう 人に 地域に 明日に そして希望に!**  
**～第20回年次大会大阪大会開催に向けて～**

日本デイケア学会第20回年次大会 大会長 三家 英明  
医療法人 三家クリニック

第20回年次大会は2015年10月23日(金)、24日(土)大阪国際会議場(グランキューブ大阪)で開催させていただくことになりました。大阪での開催は初めてのことで、また第20回という節目の大会をやらせていただくことを大変光栄に思っていますが、デイケアを巡る今日の状況は厳しいものがあり、多くの課題を抱えた環境下での開催で、果たすべき役割の重さを痛感しております。

さて、「つなごう 人に 地域に 明日に そして希望に!」は大阪大会のテーマですが、デイケアで人は変わることができる、だから、より多くのひとにデイケアにつながる機会を持ってもらいたい、人は人とつながり、人の輪の中で回復し成長していく、その際、先ゆく仲間であるピアサポーターの方々の活動に大いに期待したい。また利用者が地域でよりよい生活を手に入れていくためには、デイケアが地域に開かれており、関係機関と良好な連携を築いて地域のスタッフにうまくつないでいくことも求められている。デイケアは安心できる居場所であるとともに、地域に出て行く拠点であり、そして明日への架け橋としたい。そして希望に!は、利用者ひとり一人のリカバリーに向けて希望につないでいこう、そのために利用者と支援者が協働していこう、そのことによって支援者もさらに大きな希望を手に入れることができる、そうした思いを込めています。そしてこうした可能性を持つデイケアを、それぞれの現場でどう使いこなして利用者に役立てていくのかを参加者への課題にしたいと考えました。

今日、デイケアの現場の状況は極めて多種多様で、スタッフの思い、運営の内容もずいぶんと異なっています。また精神科医療の従事者、福祉関係者のデイケアに対する評価も現場で実感している効果が理解されているものとはなっていません。厚労省が示すデイケアの資料はデイケアの有用性を疑問視するような否定的なものにさえなっています。

こうしたデイケアを巡る混沌とした現状は、実のところ、私たちの手で打破していくしかありませんが、大阪大会の開催が一つのきっかけになればと願っています。是非多くの貴重な経験を持ち寄って発表していただき、学びあい、パワーアップし合う機会としたいと思います。当日は、デイケアのスタッフのみならず、利用者、OB、家族、地域の関係諸機関の方々にも参加いただく予定ですので、現状のデイケアを再点検し、これからのデイケアの方向性を見定めていく絶好の機会となるに違いありません。

御堂筋の銀杏並木が美しく色づき始める季節です。是非とも全国から多数の方々に参加いただき、交流を深めていただき、大阪大会を実り多い大会としていただくことを期待しています。そして、明日のデイケアが、利用者にとっても、また支援者にとっても、より希望の持てる場所となることを願っています。

---

# 日本デイケア学会第19回年次大会 東京大会を終えて

日本デイケア学会第19回年次大会 大会長 松永 宏子

第19回年次大会を東京で行うことが決まってから、会場探しや運営委員実行委員構成の検討等を経て、第1回目の運営委員会を開始したのは昨2013年9月21日であった。以来、月1回のペースで大会予定会場の目白大学の教室、あるいは目白大学が入試等で使えない時は錦糸町クボタクリニックの会議室を使って、運営委員会を行ってきた。運営委員会は、皆で意見を出し合って大会内容を作り上げることを意図したので、進行はゆっくりで、ちょっと心配したこともあったが、「デイケア」の学会らしく、話し合いを重ねながら進めた。

大会当日は天候もよく、坂の上の目白大学で、学術大会が2014年9月18・19日、研修会が19日の夕方、施設見学会が9月20日に行われた。事前登録や当日参加手続きをされた方は660名であったが、目白大学の10号館と佐藤記念館と研心館は、参加者であふれており、実際の人数はもっと多かったのではないかと声も上がるほど盛況であり、活気あふれる大会となった。

一日目は、記念講演として、目白大学社会学部メディア表現学科小林頼子教授による「観る愉しみ、考える楽しみ——フェルメールの世界をめぐる——」であり、観ることに加えて考えるという楽しみを存分に経験させていただいた。海外交流企画は「韓国の精神医療と日中活動における人権プログラム」について、李宣英先生（韓国ルーテル大学社会福祉学科教授）、田鎬成先生（韓国江南大学校社会福祉学科助教授）、金翰都先生（盤浦総

合社会福祉館、前館長）、朴宰佑先生（盤浦総合福祉館、精神障害者社会復帰施設ヨルリンセサン施設長）の4人による講演の後、フロアとの質疑応答が行われ、日韓の状況について意見交換を行った。政府が人権委員会を設置して地域福祉を展開する韓国の状況に刺激を受けた。

教育講演として、I「障害福祉サービスの動向」、II「認知症の方への生活支援」、III「デイケアにおける考え方と実践」、IV「薬物療法を円滑に進めるためのデイケアでの取り組み」の4つの講演が行われた。夕方には、目黒克己先生と柏木昭先生による鼎談「デイケアの歴史を振り返って」がなされ、その後に懇親会が行われ盛り上がっていた。

二日目は、特別講演としてジャーナリストの堀川恵子さんをお迎えして「少年の心の闇～永山事件にみる家族の風景」をテーマにご講演いただいた。資料収集のための地道な努力だけでなく、関係者へのかかわりの過程・人間関係樹立の過程の大切さは、デイケアでの実践と共通すると改めて感じる時間であった。シンポジウムは4グループ開催され、そのうち一つは「ピアサポート」について考えるシンポジウムであった。同時に13会場での分科会や4会場でのポスター発表など、盛り沢山過ぎたかとの反省もあるが、現場の方々が日常を振り返り交流を深める機会を提供できたものと考えている。全国からご参加くださった皆様に、心よりお礼申し上げます。

## 日本デイケア学会 第20回年次大会大阪大会のご案内

大会テーマ

**「つなごう 人に 地域に  
明日に そして希望に！」**

大会長

**三家 英明** (医療法人三家クリニック 院長)

大会URL

<http://convention.jtbcom.co.jp/daycare20/>

会 期

**平成27年10月23日(金)～10月24日(土)**

会 場

**大阪国際会議場** <http://www.gco.co.jp>

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51

### 演題募集について

- ・日本デイケア学会第20回年次大会では、デイケアに関する演題を広く募集します。
- ・演題募集期間：平成27年2月～4月(予定)
- ・オンラインでの演題登録を予定しています。詳細が決まり次第、今大会ホームページでご案内します。
- ・募集要項の詳細は大会ホームページ上で公開してまいりますのでご参照下さい。

### 事前参加登録について

- ・事前参加登録期間：平成27年3月～6月(予定)
- ・オンラインでの申込みを行います。詳細が決まり次第、今大会ホームページでご案内します。

### ポイント取得について

今大会では、日本精神神経学会精神科専門医資格更新にかかるポイントの取得ができます。

お問合せ先

**日本デイケア学会第20回年次大会大阪大会**

**事務局** 〒572-0838 寝屋川市八坂町29-1 医療法人三家クリニック  
TEL 072-829-2500

**運営事務局** 〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビル4階  
株式会社JTBコミュニケーションズコンベンション事業部  
TEL 06-6348-1397 FAX 06-6456-4105  
E-mail :daycare20@jtbcom.co.jp

## デイケア 西から東から、北から南から…

# 日本デイケア学会第19回年次大会 東京大会に参加して

中野 裕紀

9月18日(木)・19日(金)の2日間の日程で開催された第19回年次大会。田舎者で普段の移動は車ばかりの私にとって目白大学新宿キャンパスまでの道のりは息切れするほどきつい坂道でした。途中、案内係の学生さんの挨拶に元気づけられ、無事キャンパスに辿り着いたときには都会とは思えない豊かな木々にほっとしました。

今回の参加は大会長の松永さんから高齢者分科会の座長や演題発表の推薦依頼を受け、第8回年次大会以来約10年ぶりとなりました。これまでデイケア学会は医療中心のイメージでしたが、「生活を支えるデイケア-自らの生き方の創造と選択-」という大会テーマはとても魅力的で、当事者の主体性が尊重され、専門職と当事者との関係性が少しずつ変化していることが感じられる大会であったと思います。

高齢者分野においては、平成18年度に地域密着型サービスが創設され、どのようなサービス形態であろうと当事者の望む地域生活を支援するということが課題として示されたと思います。通所の時間帯だけに焦点をあてるのではなく、通所によってどのような生活が獲得できるかが問われている中、様々な機関に所属する各専門職による活発な議論の場に立ち会うことができ、自分自身の実践を振り返る貴重な機会となりました。特にシンポジウムⅣ「高齢者の地域生活を支える『日中活動』～多様化

する高齢者デイサービスの実践から考える～」では、介護保険制度の課題もありますが、我々専門職が当事者とのかかわりの中で人と人、人と場をつなぎ、より豊かに自らの生き方の創造と選択ができるように取り組んでいくための医療と介護の連携のあり方が語られたように感じました。また、「認知症の人のメンタルヘルスがあってもいい」というご発言には「なるほど、本当だな～」と妙に納得してしまいました。

時に専門職は病気や障がい目が見え、治療や症状の緩和に重きを置くことがあります。もちろん治療は大切ですが、当事者の生活の一部に医療があることを忘れないようにしなければならないと大会を振り返って改めて感じています。地域とは何か、生活とは何かを考え、当事者の強みに目を向け、地域の資源を活用しながらあたり前の生活や望む生活の実現に向けて当事者とともに取り組みたいと決意を新たにしています。

最後に、大会長をはじめ、運営・実行委員の皆さま、貴重な機会をいただきましてありがとうございました。

(社会福祉法人鶴寿会特別養護老人ホーム  
サンライフたきの里 精神保健福祉士)

## デイケア 西から東から、北から南から…

# 日本デイケア学会第19回年次大会 東京大会に参加して

鎌田 佐和子

去る9月18日(木)・19日(金)、東京都の目白大学にて第19回年次大会が行われ、20日(土)には施設見学会が都内の3か所で行われました。私は18日(木)と20日(土)に参加しました。

一日目は、大会長の松永宏子先生の講演、画家フェルメール研究の第一人者でいらっしゃる小林頼子先生の講演、北沢保健福祉センターの栗原毅先生の講演、韓国の精神医療についての講演、そして最後に、窪田彰先生、目黒克己先生、柏木昭先生の鼎談を聞かせていただきました。日本の精神科デイケアの黎明期に活躍された先生方の生の声でのお話は、後進の我々の心に響き、先生方の切り開いて下さった道を今私達が歩んでいるのだと感じ入りました。教科書で読んだことのある事実でも、先生方の臨場感あふれるご苦労話とともに語られると、歴史の重みを感じ、道を築いて下さった方々に感謝するとともに、しっかり引き継いでいかなければ、と引き締まる思いがいたしました。

20日(土)には都立松沢病院の見学会に参加しました。古くからある有名な病院ですが、実際訪れるのは初めてで、その広大さと2年前に改築されて新しく、とてもきれいであることに驚きました。セキュリティや医療設備も最新であることや、地域に親しまれる病院を目指していることにも感銘を受けました。その一方で、古い病棟を利用した資料館や、作業療法の一環として患者さんと一緒に作ったという將軍池の見学もさせていただき、歴史

の重みを感じ、印象深かったです。薬物療法がまだなかった時代に、試行錯誤して治療に当たった様子は、現代の私達から見ると衝撃的ですが、何とかしてこの病の正体を知り、戦おうと懸命な医療者の方々の姿勢が想像され、興味深く感じました。

私の職場は、地域の小さな診療所に付設のデイケアです。グループワークや、個別面談のほか、訪問看護、カンファレンス、家族会の開催、事務作業、朝・夕の掃除…と、毎日忙しく、限られた職員数で協力しながら一日一日をこなすのに精一杯です。今回デイケア学会に参加し、日々の業務の流れから一歩外れて客観的に自分の仕事を振り返ることができ、反省もあれば、今までやってきたことを肯定することもありました。自分の仕事の原点に立ち返るといって大げさですが、足元を見つめ直すことができましたように思います。そして何より、懐かしい先生や仲間、お世話になった先輩方のお顔が見られ、パワーをもらえました。日々の業務をこなす毎日では得られない知識や経験を得られた貴重な機会となり、明日からもがんばろうという気持ちになれました。忙しい中今回の学会に参加させて下さった職場の皆さんと、学会を運営して下さった方々に感謝申し上げます。

(石川町クリニック 精神保健福祉士)

# 日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、老人デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正会員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円（登録者名の変更は適宜可能）

（3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください）

振込先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格（会則の一部を引用します）

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL & FAX : 03-3813-6368

E-mail : info@daycare.gr.jp URL : http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線（ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。） -----

## 入会申込書

(正会員用)

申込日 平成 年 月 日

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	( )
--------	---	------	-----

(団体会員用)

団体名		代表者	
-----	--	-----	--

所在地	〒		
-----	---	--	--

種別		TEL	( )	FAX	( )
----	--	-----	-----	-----	-----

会員登録(計 名) ※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ